

志ある未来のために

北海道大学医学部を目指している皆さんは、今どんな大学生活を夢見ているでしょうか？ 目前の受験勉強が大変で、それどころではないという人もいるかもしれません。

北海道大学の1年生は全学教養科目を勉強します。医学部の人だけでなく、他学部の人と交流しつつ共に学びます。これらは医学に直接繋がるものでなくとも、これから豊かで実りある人生を生きていくために、視野を広げる土台です。勉学の他にも、大学には様々な行事が待っています。部活やサークル活動も盛んです。過ごし方によっては毎日が忙しく充実した生活になるでしょうし、あるいはゆったりと余裕ある生活になるでしょう。

何に重点を置き、自分という資本を投資していくかを決めるのは自分自身です。大学では一人ひとりが自由です。しかし、それには責任が伴います。後悔しない大学生活を送るために、学生としてすべきこととできること、やりたいことは積極的に挑戦しましょう。そしてせっかく入学できた時には、初心と本分を常に忘れないでください。

朝陽 俐那さん
1年生
刈谷高等学校(愛知県)卒業



東條 真有さん
4年生
British International School
Shanghai (中華人民共和国)卒業

好きなことを見つけて、学ぶ場所

北海道大学は、好きな勉強を好きなだけすることができる場だと私は思います。今受験勉強に励む皆さんは、もう勉強なんてうんざりかもしれませんが、大学での学びはまた一味違った楽しさがあるのです。

教養では、文理に関係なく好きな授業を選ぶことができますし、2年生からは医学の基礎を学べます。また本格的な医学知識のない段階であっても興味があれば医学系の研究室の様子をのぞかせてもらうこともできます。北大には素晴らしい先生方、先輩方がいらっしゃり、設備も豊富なので、このようにあらゆることを学ばせてもらう機会があるのです。

「将来研究をしたい」「臨床をしたい」「国際貢献をしたい」、あるいは「どんな風に医療に関わるかをまだ決めていない」……皆さんは、それぞれ色々な思いを抱えているでしょう。しかし、北大医学科で勉強することは、それがどんなものであれ、あなたの抱く「大志」の第一歩となるのではないのでしょうか。



田浦 拓弥さん
2年生
清風高等学校(大阪府)卒業



より良い医師を目指して

北海道大学では、1年生は総合教育部という学部学科を区別しない環境で授業を受けます。そして夏や春の長期休暇には集中講義という授業を受けることができ、普段の授業とは異なるスタイルで講義が実施されます。僕は北海道大学のこのカリキュラムの中で本当にたくさんの学生と出会い、親交を深めることができました。そして授業に関しては、北海道大学でしか受講できないと思った授業を選択して受講しました。例えば、水産学部の研究施設や農学部の農場での実習は、北大生でないと体験できなかった貴重な体験となりました。また、シンガポールでの授業にも参加しました。これも国際的な教育に力を入れている北海道大学らしい授業でした。

受験生の皆さんが北海道大学に入学し、ここで自分とは異なる様々な道を歩む学生と出会い、専門である医学以外の世界にも積極的に触れて様々な教養を得ることで、将来医師としてより多くの場面で活躍することができるでしょう！お待ちしております。

早川 宗弥さん
3年生
巣鴨高等学校(東京都)卒業



今の経験が未来の財産に

医学部を目指す皆さんは、これまでとは違う世界への憧れと希望を抱いて勉学に励んでいることと思います。その中で、自身の教養を深め知的な好奇心を満たしてくれる点で北海道大学は非常に魅力的です。先生はもちろん学生も意欲的で、総合大学の利点である多様な人材の存在と合わせて常に刺激しあうことができる環境が整っているとと言えるでしょう。

ところで、大学入学後、能動的に行動することと選択の重要性に気づかされました。授業や部活、サークルを選び、自主的に各々企画を練って親睦を深めたりします。つまり大学は学びの場である上に、自身を心身ともに鍛錬する場でもあるのです。そして症状の決定や患者さんとのコミュニケーション、手術中での咄嗟の判断といったさまざまな対応・困難を強いられる医者にとって、その経験はとても重要だと思うのです。

皆さんも一緒に多くの経験を積んでいきましょう。北大はその手助けとなり、将来の自分の確固とした財産になるはずです。



大木 拓究人さん
6年生
北海道札幌東高等学校卒業

目的がある場所に居場所がある

入学して5年が経ち多くの変化がありましたが、一貫して言えるのは大学に入るのスタートに過ぎず、時間を大切にして何かを見出すことが出来なければ全くの無駄であるという事です。自分自身がおかれた環境でベストを尽くす気持ちが無ければ、今後も何一つ変化は起こらないでしょう。一年次は教養を学びますが、興味の対象が広がれば、人生をより豊かにし、興味深い発見をする事が出来るはずです。ただ、自分のこれからの事について思いを馳せることも必要です。事実、私達は自分の就く職業に関してほとんど無知のまま進路を選択することが多く、医学ってなんだろう、そして自分の本当にしたいこと、できることはなんなのか、あらためて真剣に考える事はとても大切だと感じています。

自分はMD-PhDコースを選択し、研究に進むことを決めましたが、それでも医学部を選んだ意味はあると思っています。それは病気の研究をしていくうえでの大切な繋がりが、直に患者を真剣に診ている医師との関係を築いてくれたと思っています。

佐藤 恵理さん
5年生
国立高等学校(東京都)卒業



広がる自分の可能性

私は道外出身ですが、北海道大学で勉強できる幸せを今改めて感じています。季節を彩る広大なキャンパス、全学に漂う自由な雰囲気が好きですし、優秀で個性的な友人や先輩・後輩に囲まれ、刺激的な毎日です。

高学年になり一通りの臨床科目の学習を終えると、大学病院での実習が始まります。実際の患者さん、そしてその治療にあたる先生方を目の前にし、診療現場の雰囲気を肌で感じることは、何ものにも代えがたい勉強になります。

また、私は医学科学友会誌「フラテ」の編集に関わっているため、北海道はもちろん、全国の北大出身の先生方に取材をさせていただく機会があります。さまざまな分野でご活躍の先生方にお話を伺うと、北大医学部の先輩方の層の厚さを感じると共に、自分の将来の動き方への夢も膨らみます。

勉強をするにも自分の可能性について考えるにも、北大は本当に恵まれた環境です。受験生の皆さん、ぜひ北大へ。お待ちしております。